

2025年度 学科別授業科目一覧表 （実務経験表記あり）

課程： 工業専門課程

学科： セキュリティ・ネットワーク科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
1	C 言語演習Ⅰ	1	60	4	必修	実習	有
2	C 言語演習Ⅱ	1	60	4	必修	実習	有
3	C 言語文法Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
4	C 言語文法Ⅱ	1	30	2	必修	講義	有
5	JavaScript	1	60	4	必修	実習	有
6	CCNAⅠ	1	30	2	必修	講義	無
7	CCNAⅡ	1	30	2	必修	実習	無
8	セキュリティⅠ	1	30	2	必修	講義	無
9	セキュリティⅡ	1	30	2	必修	講義	有
10	データベース(SQL演習)Ⅰ	1	30	2	必修	実習	無
11	アルゴリズムⅠⅡ	1	60	4	必修	講義	無
12	ソフトウェア	1	30	2	必修	講義	有
13	ハードウェアⅠⅡ	1	60	4	必修	講義	無
14	ネットワーク	1	30	2	必修	講義	有
15	ホームページ	1	60	4	必修	実習	有
16	表計算基礎Ⅰ	1	30	2	必修	実習	無
17	表計算基礎Ⅱ	1	60	4	必修	実習	無
18	文書編集基礎	1	30	2	必修	実習	無
19	ITパスポート対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
20	ITパスポート対策Ⅱ	1	30	2	選択	講義	無
21	基本情報対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
22	基本情報科目A対策	1	30	2	必修	講義	無
23	基本情報科目B対策Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
24	基礎学力Ⅰ	1	30	2	必修	講義	無
25	基礎学力Ⅱ	1	30	2	選択	講義	無
26	文書作成	1	30	2	必修	演習	無
27	ビジネスマナーⅠ	1	30	2	必修	講義	有
28	情報関連法規Ⅰ	1	30	2	必修	講義	有
29	経営	1	30	2	必修	講義	有
30	体育実習Ⅰ	1	60	4	必修	実習	無
31	課外活動Ⅰ	1	15	1	選択	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	C 言語演習 I	太田和也	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
C 言語文法で学んだ内容を、演習によってさらに理解度を深める。また、実際にプログラムを作成・実行することでプログラム開発の手順についても学習する。							
【講義概要】							
各回ともそのテーマに関する、基礎/確認となる問題を 1 ～ 2 問、発展的な問題を 2 ～ 3 問。応用問題を 1 ～ 2 問程度出題する。また、各課題のフローチャートを書く演習も行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	コマンドプロンプトによるコンパイル～実行までの手順、エラーの修正方法						
2	scanf関数、代入式、四則剰余演算に関する演習						
3	基本的なfor命令、forの入れ子、インクリメント/デクリメントに関する演習						
4	基本的なif命令、ifの入れ子、elseifに関する演習						
5	初期値、条件、増分などのないfor・breakに関する演習						
6	総合演習 1						
7	一次元配列 1 (int)に関する演習						
8	一次元配列 2 (char)、(char配列による)文字列の取り扱いに関する演習						
9	ソートの手法、乱数に関する演習						
10	二次元配列 1 (int)に関する演習						
11	二次元配列 2 (char)に関する演習						
12	関数 1 (概要、戻り値のない関数)に関する演習						
13	関数 2 (戻り値のある関数)、変数(float)、includeに関する演習						
14	総合演習 2						
15	総合演習 3						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は 1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。大学時代に数学の教員免許を取得。							
【教科書・参考文献】							
特になし。授業中に独自に作成したプリントを配布する。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	C 言語演習Ⅱ	太田和也	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
C 言語文法で学んだ内容を、演習によってさらに理解度を深める。また、実際にプログラムを作成・実行することでプログラム開発の手順についても学習する。							
【講義概要】							
C言語の文法の基礎をポインタを中心として、実際にプログラムを作成して動かして身に付ける。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ビット演算。						
2	繰り返しの応用。						
3	ポインタ その1。アドレスの基礎。						
4	ポインタ その2。配列とポインタ。						
5	ポインタ その3。ポインタと文字列。						
6	ポインタ その4。ポインタの応用。						
7	ポインタのまとめ。						
8	ここまでの復習。						
9	構造体 その1。						
10	構造体 その2。構造体とポインタ。						
11	構造体 その3。列挙型。						
12	ファイルの入出力 その1。						
13	ファイルの入出力 その2。						
14	まとめ。						
15	全体の復習。						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。 大学時代に数学の教員免許を取得。							
【教科書・参考文献】							
特になし。授業中に独自に作成したプリントを配布する。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	講義	C 言語文法 I	太田和也	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
C 言語の文法について学習する。 コンパイラ言語の学習も初めてなので、コンパイラ言語でのプログラム開発に必要な知識についてもあわせて学習する。							
【講義概要】							
文法と合わせ演習科目も実施し、より理解度を深めるようにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	C 言語プログラムの概要、コンパイラ/スクリプトなど、printf関数、データ型						
2	変数、scanf関数						
3	代入式、四則剰余演算						
4	基本的なfor命令、forの入れ子、インクリメント/デクリメント						
5	基本的なif命令、ifの入れ子、else if						
6	初期値・条件・増分などのないfor、break、中間試験対策						
7	中間試験						
8	switch文						
9	while文、do-while文						
10	一次元配列 1 int、char、(char配列による)文字列の取り扱い						
11	二次元配列 1 int、char						
12	関数 1 (概要、戻り値のない関数)						
13	関数 2 (戻り値のある関数)、変数(float)、include						
14	期末試験対策						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。 大学時代に数学の教員免許を取得。							
【教科書・参考文献】							
特になし。授業中に独自に作成したプリントを配布する。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門	必修	講義	C 言語文法Ⅱ		太田和也	有	2 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
C 言語の中でも重要なポイントを中心に、C言語の文法を学習する。							
【講義概要】							
C言語の文法の基礎をポイントを中心として習得する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ビット演算。						
2	繰り返しの応用。						
3	ポイント その1。アドレスの基礎。						
4	ポイント その2。配列とポイント。						
5	ポイント その3。ポイントと文字列。						
6	ポイント その4。ポイントの応用。						
7	ポイントのまとめ。						
8	中間試験。						
9	構造体 その1。						
10	構造体 その2。構造体とポイント。						
11	構造体 その3。列挙型。						
12	ファイルの入出力 その1。						
13	ファイルの入出力 その2。						
14	期末試験対策。						
15	期末試験。						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		80%			20%		100%
(補足) ・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。							
【教員紹介】							
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。 大学時代に数学の教員免許を取得。							
【教科書・参考文献】							
特になし。授業中に独自に作成したプリントを配布する。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	JavaScript		加藤 友樹	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ブラウザで稼働する唯一の言語JavaScriptとは何なのかを知り基礎的な知識を学びます。							
【講義概要】							
JavaScriptによって作ることができるものを知り、静的なホームページから動的なホームページへ改良をすることができるようになる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	JavaScriptとはどんなプログラミング言語か？ JavaScriptのできる事。開発環境の準備。						
2	HTML（HyperText Markup Language）とDOM(Domain Object Model)の関係						
3	Webページに関わる様々なファイル、ドメインとオリジン						
4	プログラムの基本的な仕組み 変数宣言、代入、スコープなど						
5	大量のデータを扱うデータ型 オブジェクトと配列 演算子						
6	関数、制御構文、データ処理						
7	プログラムの制御、繰り返し処理						
8	配列の処理						
9	文字列、日時処理						
10	JavaScriptのオブジェクト指向について その1						
11	JavaScriptのオブジェクト指向について その2						
12	イベントによJavaScriptとDOMの接続						
13	フォームの操作 その1						
14	フォームの操作 その2						
15	DOM操作を利用したアニメーション						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%	20%		20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
ウェブ制作会社やセキュリティ企業で設計から開発に関わる全般の業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
JavaScript[完全]入門 https://amzn.asia/d/bYQjdds 上記に加え別途補足資料を作成し配布							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	講義	CCNA I	平塚悠生	無	2 単位 30 時間	
	実習	CCNA II			2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける						
【講義概要】						
OSI参照モデルに従い、各層で動作するネットワークデバイスの役割を学ぶ。シミュレーションソフトを用いてネットワークデバイスの基本的な操作を身につける。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	コンピュータネットワーク、OSI参照モデルとは					
2	データ分割とカプセル化					
3	シミュレーションソフトの基本的な使い方①					
4	シミュレーションソフトの基本的な使い方②					
5	ルータの基本的な役割					
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）					
7	中間試験					
8	ルーティングのしくみ					
9	IPとは					
10	IPアドレスとは					
11	IPアドレスの計算					
12	エンドデバイスの設定					
13	ネットワークトポロジの作成					
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%
(補足)						・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
【教員紹介】						
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。						
【教科書・参考文献】						
(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	CCNA II	平塚悠生	無	2 単位 30 時間	
	講義	CCNA I			2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける						
【講義概要】						
OSI参照モデルに従い、各層で動作するネットワークデバイスの役割を学ぶ。シミュレーションソフトを用いてネットワークデバイスの基本的な操作を身につける。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	コンピュータネットワーク、OSI参照モデルとは					
2	データ分割とカプセル化					
3	シミュレーションソフトの基本的な使い方①					
4	シミュレーションソフトの基本的な使い方②					
5	ルータの基本的な役割					
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）					
7	中間試験					
8	ルーティングのしくみ					
9	IPとは					
10	IPアドレスとは					
11	IPアドレスの計算					
12	エンドデバイスの設定					
13	ネットワークトポロジの作成					
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%
(補足)						・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
【教員紹介】						
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。						
【教科書・参考文献】						
(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象														
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		1 年 前期														
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数														
専門 必修	講義	セキュリティ I		鹿子木範昭	無	2 単位 30 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																				
情報セキュリティの基礎知識の習得とその活用																				
【講義概要】																				
セキュリティインシデントの予防と対応のための基礎知識・技術をテキストを中心に学ぶ。 資格試験対策として小テストを実施する。																				
回	授業計画及び学習の内容																			
1	情報通信白書による情報セキュリティインシデントの事例研究																			
2	情報セキュリティの概念																			
3	情報資産に対する脅威																			
4	情報システムに対するセキュリティ上の脅威																			
5	情報システムの脆弱性																			
6	前半のまとめ																			
7	中間試験																			
8	暗号化システムの基礎																			
9	認証技術																			
10	デジタル署名																			
11	ネットワークセキュリティ技術 その1																			
12	ネットワークセキュリティ技術 その2																			
13	情報セキュリティ関連法規																			
14	後半のまとめ																			
15	期末試験																			
【成績評価方法】																				
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（ ）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td>70%</td><td>20%</td><td></td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></table> (補足) - 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 - 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 - レポートや自習課題は必ず提出すること。							評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%	20%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計														
割合	70%	20%		10%		100%														
【教員紹介】																				
大学・大学院等で30年以上の経営情報の研究教育歴があり、本学でも10年以上の教育歴がある。企業などでプロジェクトに参加し、マネジメントの経験がある。																				
【教科書・参考文献】																				
ITワールド、FE科目A対策問題集																				

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門	必修	講義		セキュリティⅡ		久良知 眞紀子	有	2 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】								
情報セキュリティマネジメント試験の午前・午後問題分野について、要点確認と問題演習を行う。								
【講義概要】								
教科書の単元に沿って解説する。毎回、授業の最後に、その日の授業の範囲から出題した小テストを行う。								
回	授業計画及び学習の内容							
1	情報セキュリティ全般：単元01 情報セキュリティ							
2	情報セキュリティ全般：単元02 マルウェア、単元03 パスワードの不正入手/不正利用、							
3	情報セキュリティ全般：単元04 Webサイト利用者への攻撃、単元05 サービスの妨害/悪用、							
4	情報セキュリティ全般：単元06 人的脅威、単元07 物理的脅威/その他の脅威、							
5	情報セキュリティ全般：単元08 暗号化技術、単元09 認証技術							
6	情報セキュリティ全般：単元10 デジタル署名							
7	中間試験							
8	情報セキュリティ対策：単元11 マルウェア対策、単元12 不正アクセス対策							
9	情報セキュリティ対策：単元13ネットワークセキュリティ、単元14情報漏えい対策							
10	情報セキュリティ対策：単元15その他のセキュリティ対策							
11	情報セキュリティ管理：単元16 情報セキュリティマネジメント、単元17 ISMS							
12	情報セキュリティ管理：単元18 リスクマネジメント、単元19 情報セキュリティインシデント管理							
13	情報セキュリティ関連法規：単元20 情報セキュリティ関連法規							
14	総合問題							
15	期末試験							
【成績評価方法】								
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	）	合計
割合		80%			20%			100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】								
①銀行でシステム開発に従事（2年） ②IT企業で開発に従事（2年） ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング（20年） ④専門学校でIT系科目を担当（10年）								
【教科書・参考文献】								
情報セキユマネ試験 要点&問題集（インフォテックサーブ）								

東京電子専門学校

開講課程			開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程			セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期
講義区分		授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数
専門	必修	実習	データベース(SQL演習) I	砂賀 勝己	無	2 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
DBとDBMSの基本機能を理解する。 またSQLの基本文法を理解し、SQLを用いたデータ操作ができることを目標とする。						
【講義概要】						
教科書、プロジェクト、プリント、DBMS(MySQL)を使用し、DBの知識とSQLを書く力を身につける。 総まとめとして、基本情報技術者試験の過去問題の実施やSQL強化演習を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	DBとファイルの違い、データモデル、関係演算、DB環境構築					
2	DBの設計、4大命令の成り立ちと覚えるコツ_前編					
3	DBMSの機能(保全・機密・障害回復)、4大命令の成り立ちと覚えるコツ_後編					
4	DB定義(テーブル・ビュー・権限)、データ格納					
5	WHERE句、DISTINCT句、演算子					
6	データのグループ化、集計関数(MAX、MIN、SUM、AVG、COUNT)					
7	中間試験					
8	データの並べ替え					
9	テーブル結合					
10	副照会、相関副照会					
11	分散DB、データウェアハウス、ビッグデータ、その他の関連技法					
12	総まとめ問題、SQL強化演習					
13	基本技術者試験過去問題、SQL強化演習					
14	基本技術者試験過去問題、SQL強化演習					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）
割合		70%			30%	
(補足)		授業内で実施する演習を平常点として成績評価に加える				
【教員紹介】						
教育機関にて学内のシステム・インフラ開発業務に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当.						
【教科書・参考文献】						
ITワールド(インフォテックサーブ)、基本情報技術者科目A問題集(インフォテックサーブ)						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	アルゴリズムⅠⅡ	成田 与志子	無	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
アルゴリズムの基礎を習得し、フローチャートや擬似言語の作成、およびそれらからのトレース作業の習得ができるようにする。							
【講義概要】							
アルゴリズムの基礎・基本を学習し、フローチャートや擬似言語を作成しつつ、それらからのトレースの実践を学習する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	アルゴリズムとは フローチャートの基礎						
2	変数について						
3	比較分岐①						
4	比較分岐②						
5	繰り返し処理①						
6	繰り返し処理②						
7	中間試験対策						
8	1次元配列						
9	2次元配列						
10	配列の探索①						
11	配列の探索②						
12	データの挿入・削除						
13	ソート①						
14	ソート②						
15	期末試験対策						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
情報学部の教員として、現在に至る。							
【教科書・参考文献】							
ITワールド インフォテックサーブ							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	ソフトウェア	坂東 佑一	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験の範囲を中心に、コンピュータ科学の基礎、ソフトウェアの基礎を理解する。							
【講義概要】							
可能な限り過去問演習時間を多く取り、基本情報技術者試験の問題に慣れてもらう。テーマの順番は前後する場合がある。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	情報処理システムの処理形態						
2	高信頼化システムの構成、情報処理システムの評価 1						
3	情報処理システムの評価 2、ヒューマンインターフェース 1						
4	ヒューマンインタフェース 2、マルチメディア						
5	ソフトウェアの分類、オペレーティングシステム 1						
6	オペレーティングシステム 2						
7	中間試験☒						
8	オペレーティングシステム 3						
9	プログラム言語と言語プロセッサ						
10	ファイル 1						
11	ファイル 2						
12	データベースの概要 1						
13	データベースの概要 2						
14	データベースの概要 3、いろいろなデータベース						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は 1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士) NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て、2020年2月～現職							
【教科書・参考文献】							
・ ITワールド、基本情報技術者科目A問題集（株式会社インフォテックサーブ） 〔令和7年度〕基本情報技術者 超効率の教科書＋よく出る問題集 （インプレス）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	ハードウェアⅠⅡ	砂賀 勝己	無	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験の対象となる範囲を中心に、ハードウェアの基礎について学習する。 時間があればパソコンの部品・内部構成・技術などについても触れる。							
【講義概要】							
基本情報技術者試験の午前分野の対策となる演習も行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	学習目標、コンピュータの基本構成、データの表現、 基数(2進・10進・16進、コンピュータの分野における基数の必要性について)、 基数変換1(2進数→10進数)						
2	基数変換2(16進数→10進数、10進数→2進数、10進数→16進数)						
3	基数変換3(2進数↔16進数)、2進数の加減算、データの表現形式(浮動小数点除く)						
4	1～3回の演習、中央処理装置の構成						
5	論理演算1、記憶素子						
6	論理演算2、中間試験対策						
7	中間試験☒						
8	中間試験解説、高速化技術						
9	磁気ディスク1						
10	磁気ディスク2						
11	光ディスク、その他の補助記憶媒体・装置						
12	8～10回の演習、コンピュータの性能評価						
13	パソコン関連技術						
14	前回の演習の解説、期末試験対策、浮動小数点						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%		20%			100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、 60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
教育機関にて学内のシステム・インフラ開発業務に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。							
【教科書・参考文献】							
・ ITワールド、基本情報技術者科目A問題集（株式会社インフォテックサーブ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	ネットワーク	高木 健至	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
インターネットに代表されるコンピュータネットワークの基礎及びネットワーク技術を習得する。また、情報処理技術者試験の対象範囲の問題に対応できるようになる。							
【講義概要】							
ネットワークの基礎技術と、プロトコルを始めとするアーキテクチャに関する知識から、我々の生活を支える社会基盤となっているLAN，インターネットの仕組みを学習する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	インターネットの概要						
2	通信サービスの品質評価						
3	インターネット 電子メール、WWW						
4	インターネット 各種サービス						
5	インターネット プロトコル①						
6	インターネット プロトコル②						
7	中間試験						
8	ネットワークアーキテクチャ OSI						
9	ネットワークアーキテクチャ TCP/IP						
10	LANの概要						
11	LAN アクセス制御						
12	ネットワークの仕組み 変調、同期、誤り制御						
13	ネットワークの仕組み 交換方式、その他						
14	ネットワーク管理						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
教育（情報、通信等）を中心に、ITサービス（インターネット、LAN他），コンサルタント等，IT関連事業を行っています。							
【教科書・参考文献】							
ITワールド （株）インフォテックサーブ							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	実習	ホームページ	荒川 宇之輔	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
ウェブサイトやウェブサービス構築のための基本技術としてのHTMLおよびCSSを学び、レスポンシブデザインによるマルチデバイスに対応させたコーディングを行えることを目標とする。							
【講義概要】							
ウェブページの構造を理解し、環境構築、デザインカンパからHTMLおよびCSSを用いてPC用およびスマホ用のコーディング（レスポ ンシブ）を行う。夏季課題中に課題レポートを行う。教科書は主に予・復習、課題用に用いるため、毎回の持参は必須としない。必 要時のみ指示する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ウェブサイト制作のための環境構築。エディタの使い方、HTMLの基礎。						
2	見出し、段落、リスト						
3	ボックスモデル、ナビゲーションの仕組み						
4	相対パス、絶対パス、リンクの作成						
5	画像の種類、全面に配置する画像						
6	テーブルを使ったレイアウト						
7	フレックスボックス、ポジション						
8	CSSアニメーションについて						
9	PC/スマホ用のレスポンシブ対応のデザインをコーディングしてみる① レスポンシブ対応など						
10	PC/スマホ用のレスポンシブ対応のデザインをコーディングしてみる② ウェブフォントの活用など						
11	PC/スマホ用のレスポンシブ対応のデザインをコーディングしてみる③ 外部サービスの活用など						
12	PC用のペラ物のカンパを元にコーディングしてみる①						
13	PC用のペラ物のカンパを元にコーディングしてみる②						
14	課題レポート						
15	課題ウェブサイト制作						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%		20%	20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
20年以上、ウェブデザイナー、プログラマとして幅広いウェブサイトの企画、開発、運用に従事。他、様々なデジタルコンテンツの制 作に従事。また、複数の専門学校や企業においてウェブ全般の講師業に従事。							
【教科書・参考文献】							
1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座、Mana（著）、SBクリエイティブ							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	実習	表計算基礎 I	安藤 真理	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
officeソフトの一つであるExcelの基本操作を学習する。 また後期には応用的、実践的な使用をするので、そのために必要な力を身に着ける。							
【講義概要】							
Excelの基本的な使用方法と関数の必要性などを理解し、表やグラフなどを作成する。作成する際には見やすさ、わかりやすさなどを意識したものにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Excelについて 基本的な使用方法						
2	入力について 簡単な式、オートフィル						
3	ワークシートの使用方法						
4	関数(SUM, AVERAGE, MAX, MIN, COUNT, ROUND)						
5	IF関数とネスト						
6	条件付き書式						
7	グラフ①						
8	グラフ②						
9	グラフ③						
10	データベース関数						
11	テーブル、ピボットテーブル						
12	文字列操作						
13	検索するための関数						
14	まとめ 提出状況の確認						
15	まとめ 課題の最終確認						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。							
【教科書・参考文献】							
30時間でマスター Excel2019 （織田良次 実教出版）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	実習	表計算基礎Ⅱ	藤田恵子	無	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
Excelの応用的な利用法について学習する							
【講義概要】							
毎回配布プリントの見本や指示に従い、毎回課題を作成し、A 4 紙に印刷して提出し評価を受ける。課題は、完成しA評価をもらうまで提出を続けること。テキストがない代わりに、PDF形式の見本や説明を毎回ファイルで配布し各自で確認できる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	表作成、罫線変更、セル結合、複数シートの集計（基本関数の復習sumaverage/max/count/countif/if/rank/small/large）						
2	グラフ作成（積み上げ横棒、レーダチャート、2つの円グラフ、ヒストグラム、折れ線）と、WORDへリンク貼り付け						
3	日付関数による計算（DATE/month/day/year/today/now）時刻の計算稼働時間など（time/hour/minute/second）						
4	セルの表示形式の変更とユーザ定義（時刻や日付や曜日の定義、整数や小数、単位をつけるなどの定義づけ）						
5	表検索（VLOOKUP/HLOOKUP）の活用とIF関数の応用、MATCH関数の応用、文字列関数（light/left/MID）の活用						
6	表のデータベース機能（複数条件の並べ替え/フィルタによる抽出/フィルタボタンの使い方/テーブルの条件付き書式）						
7	複数ファイルからのデータインポート、シートの移動や削除やコピー/別ファイル同士の集計/リンクの設定と活用						
8	複数シートの串刺し演算活用/複数シートのグループ化の活用/シートの保護の活用/PDF変換/WEBへの変換/WEBをインポート						
9	データベースの集計（DSUM/daverage/DCOUNT/DMAX/DMIN）条件の作成方法/SUMIFによるデータの条件別集計						
10	WORD差し込み印刷への住所録データベースの作成（各リストの定義をつくる）VLOOKUPの活用による個別検索（リスト使用（						
11	勤務表稼働時間計算/時速や分速秒速/に進数計算など応用/ABS絶対値の活用/WHAT-IF予測自動計算機能						
12	VBAプログラム（自動マクロの活用、フォームやツールの活用、基本if～then文）（for--繰り返し）						
13	VBAプログラム作成（差し込み印刷の自動化、データベース表の自動化、表計算の自動化）						
14	まとめと復習 1						
15	まとめと復習 2						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%			30%		100%
(補足)		・成績は1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
実教出版Excel 3 0 時間、無限大EXCEL、MOS試験対策本、日商文書作成検定2級試験問題、							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	実習	文書編集基礎	藤田恵子	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
日本語ローマ字入力・特殊記号の入力、ブラインドタッチ入力速度アップ、社内文書社外文書作成、表作成と罫線、箇条書き、段落の設定や複数印刷、図形の書き方編集、画像の編集と挿入などPOP広告まで、差し込み印刷やはがき、封筒の宛名などビジネスで使う昨日を学ぶ							
【講義概要】							
毎回配布プリントの見本や指示に従い、毎回課題を作成し、A 4 紙に印刷して提出し評価を受ける。課題は、完成しA評価をもらうまで提出を続けること。テキストがない代わりに、PDF形式の見本や説明を毎回ファイルで配布し各自で確認できる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	日本語入力、文章入力のこつ、特殊文字記号、スペース、改行、改ページ、印刷方法、データ保存方法、WORD基本機能						
2	文字の書式（太字、下線、文字種類サイズ、横幅拡大％）段落、インデント、タブ設定、タブの使い方、ページ設定						
3	段落の書式、行間、ページ当たり文字数、均等割付け、コピー貼り付け、文字の移動、文字や長文の入力練習						
4	社内文書作成（定例会議お知らせ、社員研修会案内、忘年会案内）社外文書作成（新社屋移転案内）ぶら下げインデント						
5	段落、ルーラー表示、タブ設定、ぶら下げインデント、右インデントの活用、社外文書作成2 切り取り線つくる						
6	画像の挿入・編集・移動・サイズ変更・位置・トリミング、ページ番号、ヘッダ・フッタの活用、社外文書作成3						
7	表作成、罫線の編集、セル結合、セル内の入力編集、表の移動・配置、住所〒番号から住所表示の方法						
8	表作成応用、表の中に画像挿入、列幅変更、行や列の挿入と削除、表の作成、表のコピー						
9	表の中に表を作る、罫線の太さ、表の中でSUM計算機能 箇条書きの基本、行頭文字変更、スタイル登録と適用						
10	箇条書きの応用、スタイル登録と適用、アウトラインの活用、段組、アウトラインによる複数ページの見出しナビ機能						
11	EXCELグラフや表をWORDにリンク貼り付け、テキストボックスの作成、編集、活用						
12	差し込み印刷、はがき印刷（宛名面、うら面）、ワードアートと特殊文字、図形のグループ化						
13	PDFに変換、WEBに変換、アウトライン、POP広告ポスター作製、400字紙印刷ほか、検定問題練習						
14	まとめと復習1						
15	まとめと復習2						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%			30%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
実教出版WORD30時間、無限大WORD、MOS試験対策本、日商文書作成検定2級試験問題、							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	ITパスポート対策 I	太田和也	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
ITパスポート試験合格を目標とする							
【講義概要】							
ITパスポート試験の対策を行う。 各分野ごとに問題演習と解説を行い、内容の理解と試験問題を解けるようにする。 ITパスポート取得者は受講/定期試験免除となる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ITパスポート試験の概要と対策授業について						
2	問題演習と解説（マネジメント系 開発技術）						
3	問題演習と解説（マネジメント系 プロジェクトマネジメント）						
4	問題演習と解説（マネジメント系 サービスマネジメント）						
5	小テスト（マネジメント系）						
6	中間試験対策						
7	中間試験						
8	問題演習と解説（ストラテジ系 企業と法務）						
9	問題演習と解説（ストラテジ系 経営戦略）						
10	問題演習と解説（ストラテジ系 システム戦略）						
11	小テスト（ストラテジ系）						
12	問題演習と解説（テクノロジ系 コンピュータシステム）						
13	問題演習と解説（テクノロジ系 技術要素）						
14	期末試験対策						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		50%	30%		20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。							
【教科書・参考文献】							
ITパスポート 超効率の教科書 令和7年度 渡辺さき著／株式会社インプレス							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 選択	講義	ITパスポート対策Ⅱ	成田 与志子	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
ITパスポート試験合格を目標とする							
【講義概要】							
ITパスポート試験の対策を行う。用語と問題を理解し、合格を目指す。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	疑似言語 記述の規則						
2	疑似言語 プログラムの読み方						
3	マネジメント 開発技術。 過去問練習						
4	マネジメント プロジェクトマネジメント。 過去問練習						
5	マネジメント サービスマネジメント。 過去問練習						
6	ITパスポート 令和6年過去問題の解説						
7	中間試験対策						
8	テクノロジー 基礎理論。 過去問練習						
9	テクノロジー 技術要素。 過去問練習						
10	テクノロジー コンピュータシステム。 過去問練習						
11	ストラテジ 経営戦略。 過去問練習						
12	ストラテジ 企業と法務。 過去問練習						
13	ストラテジ システム戦略。 過去問練習						
14	ITパスポート 令和5年過去問題の解説						
15	期末試験対策						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%	20%		20%		100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
実務経験なし							
【教科書・参考文献】							
令和6年度春期 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
基礎専門 必修	講義	基本情報対策 I	太田和也	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
基本情報技術者試験の合格を目指す						
【講義概要】						
1 2 月のFE科目免除修了試験まではFE科目Aの過去問題を繰り返し学習する。 1 2 月の免除試験終了後は科目 B (午後)対策の対策問題を繰り返し学習する。 FE取得者は受講/定期試験免除となる。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	科目A過去問題の反復練習					
2	科目A過去問題の反復練習					
3	科目A過去問題の反復練習					
4	科目A過去問題の反復練習					
5	科目A過去問題の反復練習					
6	科目A過去問題の反復練習					
7	科目A過去問題の反復練習					
8	中間試験 or 科目A過去問題の反復練習					
9	科目A免除試験直前対策					
10	科目B過去問題の反復練習					
11	科目B過去問題の反復練習					
12	科目B過去問題の反復練習					
13	科目B過去問題の反復練習					
14	科目B過去問題の反復練習					
15	期末試験 or 科目B過去問題の反復練習					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%
(補足) ・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。						
【教科書・参考文献】						
IPAが公開している過去問題、サンプル問題						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
基礎専門 必修	講義	基本情報科目A対策	井元和彦	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
基本情報技術者試験科目Aにおいて、合格水準の力を身につけることを目標とする。						
【講義概要】						
基本情報技術者試験の科目A及び旧午前試験の過去問題、公開問題、サンプル問題を中心に演習・解説を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	過去問演習					
2	過去問演習					
3	過去問演習					
4	過去問演習					
5	過去問演習					
6	過去問演習					
7	中間試験					
8	過去問演習					
9	過去問演習					
10	過去問演習					
11	過去問演習					
12	過去問演習					
13	過去問演習					
14	過去問演習					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%
(補足) ・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】						
本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当						
【教科書・参考文献】						
IPAが公開している過去問題、サンプル問題						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	基本情報科目B対策 I	安藤 真理	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験（ F E ）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。							
【講義概要】							
基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 前期のアルゴリズムの復習						
2	擬似言語 分岐と繰り返し						
3	配列①、再帰						
4	配列②						
5	二次元配列						
6	中間試験対策						
7	中間試験解説						
8	探索						
9	リスト①						
10	リスト②						
11	木構造、ハッシュ表						
12	整列①						
13	整列②						
14	期末試験対策						
15	期末試験解説						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。							
【教科書・参考文献】							
基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミング トレーニング 問題集(第2版)（大原出版）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 必修	講義	基礎学力 I	佐々木 一仁	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる						
【講義概要】						
①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など						
回	授業計画及び学習の内容					
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）					
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題					
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題					
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み					
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題					
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習					
7	中間試験					
8	図形問題（角度）					
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）					
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題					
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題					
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）					
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題					
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】						
中学校，高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。						
【教科書・参考文献】						
BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 選択	講義	基礎学力Ⅱ	佐々木 一仁	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる						
【講義概要】						
①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など						
回	授業計画及び学習の内容					
1	日本語の基礎知識No. 1、数学の基礎計算P. 128～133、文章問題(仕事算)					
2	日本語の基礎知識No. 2、数学の基礎計算P. 134～139、文章問題(割合算)					
3	日本語の基礎知識No. 3、数学の基礎計算P. 140～145、文章問題(定価算)					
4	日本語の基礎知識No. 4、数学の基礎計算P. 146～151、文章問題(速度算)					
5	日本語の基礎知識No. 5、数学の基礎計算P. 152～157、文章問題(流水算)					
6	日本語の基礎知識番外編、数学の基礎計算P. 158～165、文章問題(通過算)					
7	中間考査					
8	日本語の基礎知識No. 6、数学の基礎計算P. 166～171、式の展開					
9	日本語の基礎知識No. 7、数学の基礎計算P. 172～177、因数分解(1)					
10	日本語の基礎知識No. 8、数学の基礎計算P. 178～183、因数分解(2)					
11	日本語の基礎知識No. 9、数学の基礎計算P. 184～189、平方根					
12	日本語の基礎知識No. 10、数学の基礎計算P. 190～195、二次方程式					
13	日本語の基礎知識No. 11、数学の基礎計算P. 196～201、n進法					
14	日本語の基礎知識No. 12、数学の基礎計算P. 202～209、集合					
15	期末考査					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%	10%		10%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。						
【教員紹介】						
中学校，高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。						
【教科書・参考文献】						
BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	演習	文書作成	平塚悠生	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
この講義では「読みやすく、分かりやすい文章を書く練習をする」を目的とする。 とにかく、自分の頭と手を実際に動かして書く練習をしましょう。							
【講義概要】							
授業プリントを配布しながら講義を進める。 授業の終わりに課題を提出し、回収するので必ず取り組むこと。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	読みやすい文章を考える						
2	文章構成の手順：PREP法を意識して一目で伝わる文章を書いてみよう						
3	句読点の適切な使い方：適当ではなく適切な部分に使いましょう						
4	語彙を増やす：適切な語彙を選び文章の説得力をあげよう						
5	漢字とひらがなの使い分け：7：3を意識しよう						
6	接続詞：展開・逆説・並置・例など適切な接続詞を用いてみよう						
7	順序の整理：自然な順序で書きましょう						
8	主張表現：重要点は2回書きましょう						
9	修飾語と被修飾語を近づけよう：文章のねじれをなくそう						
10	比喩表現：よい比喩を活用しよう						
11	敬語の復習：正しい敬語を身に着けよう						
12	読みやすい文章とは：不要な語、あいまいな表現、こそあど言葉、言葉の重複に気を付けよう						
13	文章校正：書いた文章を校正してみよう						
14	演習問題						
15	演習問題						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。							
【教科書・参考文献】							
オリジナルのプリントを配布します。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	ビジネスマナーⅠ	山際 能理子	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
接遇を学び、正しいビジネスマナーを習得し、良好な人間関係の構築を図る							
【講義概要】							
クラス全員の参加型形式で、「知る・わかる・できる」のステップで、身につけていきます。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	【オリエンテーション】 クラスのルール クラスメンバーと知りあう						
2	【サービススタッフの資質①】 仕事は全てサービス業 心構えと基本行動						
3	【サービススタッフの資質②】 好印象・好感度の形成						
4	【サービスの専門知識】 サービスの機能や種類						
5	【従業知識】 商業用語・経済用語 会社の構成						
6	【一般知識①】 ことわざ・慣用表現 慶事の知識						
7	【一般知識②】 物の名称・数え方 カタカナ用語 弔事の知識						
8	【対人技能①】 コミュニケーション						
9	【対人技能②】 接遇の基本 接遇用語 敬語						
10	【対人技能③】 基本のマナー お辞儀・立ち居振る舞い・案内・席次・和室・食事						
11	【実務技能①】 問題の捉え方 問題への対応						
12	【実務技能②】 環境の整備 金品管理						
13	【実務技能③】 社交業務						
14	サービス接遇検定 模擬テストに挑戦						
15	全体のまとめ						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		50%			50%	参考：授業姿勢を重要視	100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
情報処理科、電子技術科、臨床工学科において、ビジネスマナーを担当。学校での講義だけでなく、企業での研修や講演も行っている。サービス接遇検定本の著者。							
【教科書・参考文献】							
ユーキャンのサービス接遇検定合格テキスト＆問題集							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	講義	情報関連法規 I	佐久間 悠太	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
①現代の市民生活を送るうえで必要な法的知識を修得する。 ②情報処理技術者として必要な法的知識を修得する。							
【講義概要】							
本講義では、身近な法律問題を取り上げて、法律学の基本的な知識を修得します。また、情報処理技術者として必要な法的知識を修得します。単なる知識として理解するだけでなく、具体的な事例をもとに、法的思考を養うことを目標とします。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	イントロダクション（法とはなにか、日本の法律の基本的構成）						
2	日本国憲法の基本について理解する①						
3	日本国憲法の基本について理解する②						
4	日本国憲法の基本について理解する③						
5	民事法の基本について理解する①						
6	民事法の基本について理解する②						
7	中間試験						
8	民事法の基本について理解する③						
9	刑事法の基本について理解する①						
10	刑事法の基本について理解する②						
11	刑事法の基本について理解する③						
12	情報処理技術者として必要な法律について理解する①						
13	情報処理技術者として必要な法律について理解する②						
14	情報処理技術者として必要な法律について理解する③						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		70%		15%	15%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。					
【教員紹介】						名古屋市立大学大学院修士課程修了。専攻は憲法学。大学院修了後、中日本高速道路株式会社に8年間勤務し、法務業務（契約書審査や訴訟対応等）や情報システム業務を主に担当。2021年に同社を退職し、現在は行政書士佐久間事務所の代表として、企業の法務業務をサポートしている。東北大学大学院博士課程に在籍中。	
【教科書・参考文献】						米丸恒治編『18歳からはじめる情報法〔第2版〕』（法律文化社、2022年）	

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	経営	古郡聡	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
IT社会を支えている情報システムを中心とした戦略について、経営戦略と企業について学ぶ。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。							
【講義概要】							
授業テーマごとにテキスト『IT戦略とマネジメント』に基づいて解説した後，毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す							
回	授業計画及び学習の内容						
1	企業活動の目的						
2	企業会計						
3	オペレーションズリサーチ(1)						
4	オペレーションズリサーチ(2)						
5	経営工学・品質管理						
6	法務と標準化						
7	中間試験						
8	経営戦略マネジメント(1)☒						
9	経営戦略マネジメント(2)☒						
10	技術戦略マネジメント・ビジネスインダストリ						
11	e-ビジネス						
12	情報システム戦略						
13	情報システム企画						
14	開発技術						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		75%			25%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。					
【教員紹介】							
教育機関にて学内のシステム開発業務に従事。企業のIT系研修及び情報系専門学校にて講師を担当。							
【教科書・参考文献】							
『IT戦略とマネジメント』(株)インフォテック・サーブ							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習 I	セキュリティ・ネットワーク科 担当教員	無	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4 時間程度歩き、心身のバランスを図ります。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。						
【講義概要】						
この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	春のハイキング					
2						
3						
4	学園祭準備（1 日目、2 日目）					
5						
6						
7	学園祭（1 日目）					
8						
9						
10	学園祭（2 日目）、後片付け					
11						
12						
13	秋のハイキング					
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合 (補足)					100%	100%
・ 成績は 1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】						
-						
【教科書・参考文献】						
-						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		1 年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 選択	実習	課外活動 I	セキュリティ・ネットワーク科 担当教員	無	1 単位 15 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

インターンシップで就業体験をしたり、企業との産学連携事業を通して特別授業やセミナーを受講、外部の勉強会やコンテスト参加など、就職に役立つ知識の習得や最新の技術動向に触れるなど、学内の授業だけでは体験できないことを経験する。

【講義概要】

参加した時間数に応じて1次元単位時間を超えた場合に 1 単位を認定する

回	授業計画及び学習の内容
1	インターンシップ、企業が実施する特別授業、セミナー受講、外部の勉強会参加、コンテスト参加など
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席と取り組む姿勢)	合計
割合				50%	50%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-